

# 帝塚山派文学学会 会報 第3号

発行日：平成29年3月1日 / 電話：090-6608-5576

事務局：〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中学3-10-51 帝塚山学院内

## 帝塚山派文学学会主催 帝塚山学院創立100周年記念文化講演会 報告

平成28年10月9日、住吉区民センターにおいて、住吉区役所共催・帝塚山学院後援で、千島土地株式会社社長芝川能一氏の講演「芝川家と教育——広岡浅子と竹鶴政孝・リタ」と日本大学芸術学部専任講師上坪裕介氏の講演「庄野潤三の文学と帝塚山学院」が110名の参加のもとに行われました。明治の豪商であった芝川又右衛門の末裔にあたる芝川氏の講演では、芝川家が有する豊富かつ貴重な画像資料を駆使して、芝川家の教育事業への寄与が紹介されました。上坪氏の講演では、庄野潤三の生涯の作品を豊富な画像で追いながら、終の棲家となった丘の上の家と庭が「物語の磁場を形成」するに至るといふ稀有な文学世界が詳説されました。

## 本学会 第3回研究会 報告

第3回研究会が平成28年12月4日（日）、帝塚山学院住吉校舎同窓会ホールで行われました。帝塚山学院大学専任講師伊藤かおり氏が「庄野英二と雑誌『びわの実学校』」と題して、坪田譲治が主宰した児童文学雑誌『びわの実学校』について、庄野英二の同誌への関わりを紹介しながら、同雑誌が戦後の児童文学に対して果たした役割を位置づけました。続いて、帝塚山学院大学教授彭佳紅氏が、「庄野英二・庄野潤三書簡に見る作家兄弟の素顔」と題して、庄野英二・庄野潤三兄弟の間に交わされた書簡を通して両作家の素顔に迫りました。なお、書簡は帝塚山学院大学卒業生の葛村聡子さんが朗読しました。

## 本学会 文学講座「庄野英二の『帝塚山風物誌』」開催報告

本学会文学講座の第1クール「庄野英二の『帝塚山風物誌』」が、本学会高橋俊郎副代表の講義によって、第1回は平成28年11月19日、第2回は平成29年1月21日の帝塚山学院住吉校舎顕彰ホールで開催されました。今から50年前に書かれた『帝塚山風物誌』は、古き良き時代の帝塚山を記録していますが、高橋講師は貴重な画像資料を駆使して『風物誌』の世界を再現しながら、『帝塚山風物誌』の各章を分かりやすく解説しました。

## 本学会 文学講座「庄野英二の『帝塚山風物誌』」最終回「街歩き」

文学講座第1クール最終回「『帝塚山風物誌』の世界を歩く」を開催します。

日時： 3月18日（土）13:30 帝塚山学院住吉校舎 玄関前集合

講師： 高橋俊郎（本学会副代表）

共催： すみよし歴史案内人の会

## 帝塚山派文学学会 第4回研究会開催のお知らせ

下記の通り、本学会第4回研究会を開催します。

日時：平成29年3月26日（日）13:30、会場：帝塚山学院住吉校舎 顕彰ホール

テーマ：「杉山平一」

発表Ⅰ：「杉山平一先生の思い出」本会会員 杉本深由起

発表Ⅱ：「杉山平一と花森安治」帝塚山学院大学元教授 山田俊幸

付記① 本会報記載の「第3回総会」の案内をもって、会員の皆様への総会招集通知とします。

② 近く本学会ホームページが立ち上がります。

## 本学会平成 29 年度上半期の予定

### ○ 文学講座 第 2 クール

- 第 1 回「阪田寛夫の授業を聴く」その 1 講師：本学会代表 河崎良二  
日時・場所：平成 29 年 5 月 20 日（土）13:30 帝塚山学院住吉校舎 顕彰ホール
- 第 2 回「阪田寛夫の授業を聴く」その 2 講師：本学会代表 河崎良二  
日時・場所：平成 29 年 7 月 15 日（土）13:30 帝塚山学院住吉校舎 顕彰ホール
- 第 2 回「阪田寛夫の『わが町』を歩く」案内人：本学会副代表 高橋俊郎  
日時・場所：平成 29 年 9 月 16 日（土）13:30 帝塚山学院住吉校舎 玄関前集合  
（共催：すみよし歴史案内人の会）

### ○ 第 3 回総会

- 日時：平成 29 年 6 月 25 日（日） 13:30～16:30  
場所：帝塚山学院住吉校舎 顕彰ホール（予定）
- 次第：Ⅰ 「父庄野英二を語る」小林晴子  
（聴き手：帝塚山学院大学専任講師伊藤かおり）
- Ⅱ 朗読「朝風のはなし」木部純子・前田綾子
- Ⅲ 第 3 回総会（28 年度会計・活動報告及び 29 年度事業計画・予算の提案）

### ○ 第 5 回研究会

- 日時：平成 29 年 9 月 30 日（土）13:30  
場所：帝塚山学院住吉校舎 顕彰ホール
- 発表Ⅰ 「詩的流れとロマンチズム——伊東静雄の中のヘルダーリン」  
大阪府立佐野高等学校常勤講師 湯浅かをり
- 発表Ⅱ 「(演題未定)」帝塚山学院大学教授 福島理子

## 『帝塚山派文学学会 紀要』創刊号 刊行のお知らせ

本年 3 月末に、本学会は『帝塚山派文学学会 紀要』創刊号を発刊します。

帝塚山派文学の作家と作品は、少数のすぐれた研究があるものの、全体として未開拓のままに残されています。その現状を切り拓いて、帝塚山派文学の再評価を前へ進めるために、本学会はこの間の研究成果を世に問うこととしました。

創刊号には、創立総会における木津川計氏の記念講演に始まって、昨年 12 月の第 3 回研究会「庄野英二編」の発表までの、この間の本学会の講演および研究発表を収録しました。とりあげられた文学者は藤澤桓夫・長沖一・庄野英二・庄野潤三・阪田寛夫の五人で、講演は講演録とし、研究発表はレジュメを基にした書き下ろしとしました。

『紀要』創刊号は本会会員には出来次第宅配便でお送りします。また、全国の大学の文学部やその図書館に寄贈して、本学会の存在と研究成果をアピールすることとしています。

付記① 本会報記載の「第 3 回総会」の案内をもって、会員の皆様への総会招集通知とします。

② 近く本学会ホームページが立ち上がります。